

冬の若手医師学生支援員会の活動

①学生向け企画

プライマリ・ケアに興味を持ってもらうべく、毎年旭医大・北大・札医大で医学生向けに学習会を行っています。今年度は1/17に旭医大で「これからのコミュニティと健康づくり（函館稜北病院 舛森悠先生 / 石谷巧先生）」、1/24に北大で「他科からコンバートした医師からみた総合診療科の魅力（栄町ファミリークリニック：草島邦夫先生）」「へき地でのオンライン診療の実際と可能性（公立芽室病院：亀田健太郎先生）」、2/14に札医大で「総合診療科って、どんな科？（栄町ファミリークリニック：中川貴史先生）」というテーマで開催し、3大学合計で44人の多くの学生が参加してくれました。大学内で行うためには学生さんの協力が不可欠で、場所の確保や宣伝を担って頂いたおかげで今年度も無事開催できました。企画に関わって頂いたみなさん、ありがとうございました。そこ・そこでの実践と魅力を学生に伝えることが、総合診療医を目指す人を増やす第一歩になると考えております。来年は皆さんの出番かもしれません！よろしくお願います。



②専攻医向け企画

毎年オンラインで1年に1～2回ポートフォリオ検討会をしていたのですが、今年度は検討会に加えて初の試みとしてオンラインでのポートフォリオ発表会を2月8日午後に行いました。寺田真也先生（道立羽幌）、増田康一先生（HCFM）、前田和俊先生（HCFM）、小山祐基先生（手稲家庭医療クリニック）、霜田英見先生（函館稜北）、横山誓也先生（倶知安厚生）の6人の専攻医に発表頂き、湯浅駿先生（順天堂大学）、泉京子先生（勤医協平和通りクリニック）にゲストコメンテーターとして参加頂きました。後半では八島駿先生と山田康介先生のHCFM指導医による、ポートフォリオ指導をどのように行っているのか？というテーマでのレクチャーも行って頂きました。多施設の専攻医と指導医が集まることで、普段得られない視点での学びや刺激が得られると感じました。参加頂いたみなさん、ありがとうございました。専攻医がポートフォリオを書くきっかけとし

発行人

支部長 木佐 健悟 北海道ブロック支部事務局（市立美唄病院内）

TEL:0126-63-4171

mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

て、また専攻医だけでなく指導医の学びの機会として、来年度以降も続けていきたいと思っておりますので、みなさまの参加をお待ちしております。

若手医師学生支援委員会 委員長

釧路協立病院 内科/総合診療科 加藤聡一郎

JPCA2025北海道大会 金曜日企画「そこ・そこ」前日祭

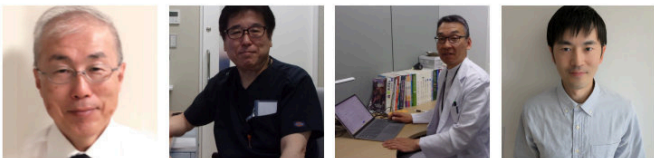
きたるJPCA2025北海道大会では、『「そこ・そこ」前日祭』と銘打ち、北海道の各地域で金曜日企画を開催します。①美唄、②十勝、③寿都・倶知安、④室蘭、⑤函館と5つのコースを用意しており、いずれも広大な北海道の土地の魅力と「そこ・そこ」のプライマリ・ケアの熱を実際に体感できるような充実の内容となっています。



大会長の木佐先生より「北海道は札幌だけじゃない！せっかくの機会なので道内各地域での実践や魅力を発信し、オール北海道で学術大会を盛り上げたい！」という熱い思いと無茶振り？を受け、蓋を開けてみれば各コースいずれもオリジナリティと遊び心あふれる楽しい企画となりました。一方で、これまで道内各地域で多くの先人達が地道にプライマリ・ケアを実践してきたことに再注目する、本大会のテーマを象徴する企画でもあるかと思えます。



登壇者の紹介



木村 眞司先生
砂川市立病院
副院長

白松 文彦先生
市立美唄病院
院長

松浦 武志先生
市立美唄病院
副院長

向坊 賢二先生
市立美唄病院
医長



永森 克志先生
ささえるクリニック岩見沢
院長

島田 啓志先生
由仁町立診療所
医長

山内 純先生
町立南幌病院
院長

桜井 恒氏
美唄市長



美唄焼き鳥、くるみ餅も提供します！
17時～18時市立美唄病院見学できます！



企画責任者：加藤 萌
道東勤医協桜ヶ岡医院
院長

SCHEDULE

2025年 6月20日(金)

09:30	帯広駅 集合
10:00	帯広空港 集合
10:30	更別村国民保健診療所 到着
	村民交流イベント「サンデーズカフェ」
11:50	昼食 (cafe e_sonneのお弁当)
	診療所ミニガイドイベント
12:50	更別村国民保健診療所 出発
	車窓から十勝を感じるミニイベント
14:00	鹿追町ねんがの家 到着
	★シンポジウム★
16:20	鹿追町ねんがの家 出発
16:50	道の駅「なつぞらのふる里」 到着
	休憩
17:30	道の駅「なつぞらのふる里」 出発
18:00	帯広駅 到着・解散



所長はこの地に勤めて20年以上！

移動中にも十勝らしい景色が楽しめます！



農村の風景



ねんがの家

カフェも併設しています！

シンポジウム登壇者★
宇部宮弘子 (在宅ケア移行支援研究所 所長)
加藤忠樹 (株式会社あけい 代表取締役)
山田康介 (北海道家庭医療学センター 更別村国民保健診療所 所長)
嶋谷也 (北海道家庭医療学センター 帯広協立病院総合診療科 部長)
松山なつむ (訪問看護ステーション かしのもり 統括所長)

企画責任者：加藤 萌 | 北海道家庭医療学センター 帯広協立病院 総合診療科



札幌での本大会はもちろん、金曜日企画にもぜひご参加いただき、魅力たっぷりの初夏の北海道と、「そこ・そこ」のプライマリ・ケアを、全国の参加者の皆さまに体験していただきましょう！ブロック支部会員の皆さまの温かいご支援をどうぞよろしくお願い致します。

- * 各コースともに現地集合・現地解散です。
- * 本企画は学術大会のプログラムですので、学術大会の参加登録が必要です。
- * 学術大会の参加登録時に、本企画への参加希望も同時に伺います。(定員制・先着順)

「そこ・そこ」前日祭 寿都・倶知安コース

地域と共にあり続けるプライマリ・ケア 初夏の後志・ニセコを巡る

スケジュール

- 9:30 JR長万部駅 集合
バスセッション
- 10:30 町民公開シンポジウム
寿都町総合文化センターウイズコム (協力：寿都町)
- 12:00 寿都診療所 見学
- 12:30 道の駅「みなとま〜れ寿都」
昼食・休憩
- 13:15 寿都出発
バスセッション
- 14:30 ニセコ高橋牧場 観光
- 15:30 倶知安厚生病院 見学
- 16:20 JR倶知安駅 希望者下車
- 17:30 JR小樽駅 解散

町民公開シンポジウム

「これまでの20年を振り返り、これからの北海道の地域医療を考える」
片岡春雄
寿都町長
<http://www.town.sutu.lg.jp/>

奥山盛
和寒町長
<https://www.town.wassamu.hokkaido.jp/>

那智院尚嗣
寿都町立寿都診療所 医師

那智院医院 前院長
寿都医師会 会長

中川貴史
栄町ファミリークリニック 院長
寿都町立寿都診療所 前所長

今江章宏
寿都町立寿都診療所 所長

バスセッション

横山哲也
ニセコ羊蹄広域倶知安厚生病院
総合診療科 専攻医

渡部和也
寿都町立寿都診療所
理学療法士

田村英俊
寿都そよかぜ薬局
プライマリ・ケア認定薬剤師

山崎礼子
栄町ファミリークリニック
プライマリ・ケア認定看護師

寿都町立寿都診療所
<https://sutu.hcfm.jp/>

ニセコ羊蹄広域倶知安厚生病院
<https://www.dou-kouseiren.com/tyouin/kutchan/>

道の駅「みなとま〜れ寿都」
<https://sutufan.com/>

ニセコ高橋牧場
<https://www.niseko-takahashi.jp/>

JPCA 2025 一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合会 企画責任者 今江章宏 (寿都町立寿都診療所)

「そこ・そこ」前日祭 室蘭コース

家庭医療の温故知新 ～北海道の家庭医療を育んだ室蘭でその過去・現在・未来を語る～

オプションコース

9:30	東室蘭駅 集合 ＝バス移動＝
9:50	日本製鉄 北日本製鉄所 到着
10:00～12:00	工場見学 (工場内階段を含む徒歩移動あり)
12:10	日本製鉄 北日本製鉄所 出発 ＝バス移動＝
12:30～12:50	道の駅みたら室蘭 到着【休憩・自由時間】 ※上記は交通渋滞等の事情により省略となる場合あり
12:50	道の駅みたら室蘭 出発 ＝バス移動＝
13:00	本輪西ファミリークリニック 到着・昼食
13:40～14:00	本輪西ファミリークリニック 見学
14:10	本輪西ファミリークリニック 出発 ＝バス移動＝
14:30	シンポジウム会場 到着

**北日本製鉄所 室蘭地区
ってどんなところ？**

北日本製鉄所 室蘭地区は明治42年(1909年)に富士製鐵の製鉄所として創業しました。以降長年にわたって培われた独自の技術と最新鋭の設備を活かし、現在は強度や耐久性などが最も高い次元で求められる自動車関連産業に向けた製品を製作しています。

室蘭はご当地グルメもたくさん！
室蘭やきとり、カレーラーメン、ラザランソフトなど、道の駅などで堪能してみませんか？

メインシンポジウム【市民公開講座】

▶スケジュール：

14:30～	開場
15:00～15:05	開会式
15:05～15:35	第1部「過去」 座長：八尾 駿 [若草ファミリークリニック 副院長] 講演：梶西 龍樹 [WONCA (世界家庭医療機構) マスター・ファカルティ]
15:35～16:10	第2部「現在」 座長：八尾 駿 講演：草場 鉄周 [北海道家庭医療学センター 理事長] 佐藤 弘太郎 [本輪西ファミリークリニック 院長]
16:10～16:20	【休憩】
16:20～17:20	第3部「未来」 座長：茂又 章徳 [向陽台ファミリークリニック 副院長] 家庭医：梶西 龍樹、草場 鉄周、佐藤 弘太郎 多職種：鈴木 明子 [訪問看護ステーション母恋 所長] 患者：日笠 和也 [本光寺 住職]
17:25～17:30	閉会式 ※終了後現地解散

▶会場：室蘭市市民会館 <https://www.kujiran.net/shiminkaikan>

JPCA 2025 一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合会 企画責任者 八尾 駿 (若草ファミリークリニック)

函館コース「そこ・そこ」前日祭

2025年6月20日(金)

ワーク ショップ
最先端の医療介護連携はこたえ暮らしの保健室

観光
ベイエリア 市電貸切 五稜郭公園

<行程>

- 8:45 朝食 (函館朝市)
- 10:00 ワークショップ (函館朝市ひろば2階)
講師：川口篤也先生、舛森悠先生
- 12:30 観光・昼食 (函館ベイエリア)
- 13:50 市電貸切
- 14:40 観光 (五稜郭公園・タワー)
- 15:35 解散 (五稜郭公園)

集合場所：函館朝市ひろば2階会議室 函館市若松町9-22

*朝食は集合場所に集合後に自由行動となります。ワークショップからの参加も可能です。
*参加には第16回日本プライマリ・ケア連合会学術大会への事前申し込みが必要です。

最新研究プログラム 手帳家庭医 最先端の医療介護連携 川口篤也先生 舛森悠先生
最新研究プログラム 手帳家庭医 最先端の医療介護連携 川口篤也先生 舛森悠先生
最新研究プログラム 手帳家庭医 最先端の医療介護連携 川口篤也先生 舛森悠先生

PRビデオ ホームページ

立寄担当 舛森悠 (札幌市立大野田眼科医療センター) 川口篤也 (函館市立病院)

リレーコラム

毎月、北海道ブロック支部でさまざまなキャリアで活躍されている方たちに気ままに日常をつづってもらっています。

初めまして。昨年度よりフォーラムの実行委員として北海道ブロック支部の活動に携わっております、薬剤師の井上紗紀と申します。なの花薬局の南小樽店に昨年9月から勤務しております。以前は東札幌店に勤務していたため、この冬は小樽の雪に圧倒されるとともに、除雪と介護に悩むご家族の声を聞く機会があり、雪国ならではの課題を実感しました。



私は就職を機に道外から北海道へ移り住み、もうすぐ2度目の冬を終えようとしています。こちらに来た当初は、はじめて暮らすまちでのつながりを求め、ひとりで研修に参加する日々を送っていました。その中でプライマリ・ケア認定薬剤師の先輩方と出会い、現在に至るまで多くの機会をいただきました。

さて、私がプライマリ・ケアに関心を持ったのは学生時代のことです。「この人のために何ができるだろう」と考えたとき、どうしても薬の知識や病態といった座学の枠を超えられない自分がありました。そんな中、プライマリ・ケアの考え方に触れ、医療の枠を超えて患者さん一人ひとりの生活や価値観に寄り添う姿勢に深く感銘を受けました。全人的に患者さんと向き合うことの大切さを知り、薬剤師として進むべき道が見えた瞬間でした。

プライマリ・ケアは薬剤師との親和性が高いと感じていますが、他の薬剤師認定資格と比べると、その実態はまだ広く知られていないのが現状です。そのため、声をかけて足を運んでくれた同僚や学生に「プライマリ・ケアっていいね」と言ってもらえたときには胸が躍ります。そして、つい「でしょ？」と嬉しさが込み上げてしまいます。これまでひとりで参加していた研修に仲間が増えていくことを、心から嬉しく思います。

最後に、プライマリ・ケアの良さや魅力は、この分野に関わる人たち自身にもあると感じています。学会に参加するたびに新たな視点を獲得ことができ、ワクワクした気持ちになります。また、同じ想いや熱量を持って頑張っている人がこんなにもいるのだと実感し、元気と勇気をもらうことができます。このような素晴らしい学びの場を、今後はより多くの若い世代に伝え、つないでいきたいと考えています。

なの花薬局南小樽店 井上紗紀

北海道ブロック支部 広報委員会 編集後記

この度、広報委員会に参加させていただくこととなりました笹岡佑樹(札幌湊仁会リハビリテーション病院薬剤師)です。支部会員の先生方には、原稿などをお願いすることもあるかと存じますが、何卒よろしくお願いいたします。現在は、支部の新ホームページを、事務局である市立美唄病院の方々にも大変尽力いただき、鋭意作成しております。リニューアル後は自前での運用予定で、柔軟な情報更新も対応できるかと思っております。

末筆ではございますが、ご多忙の中、ご執筆いただきました先生方に心よりお礼申し上げます。
